

就労支援からの地域づくりにおける 県社協の役割

～モデル市町での取り組みより～



大分県社会福祉協議会 地域福祉部
主任 吉岩 宏樹

大分県社会福祉協議会について

基本理念 「強い絆で結ばれた地域社会の構築 ～安心・安全で尊厳のある自立した暮らしの実現～」

5つの重点テーマ

重点テーマ 1 地域共生社会の推進

アプローチ

- 1 包括的かつ重層的な支援体制の確立
- 2 高齢者の社会参加と生きがいづくり
- 3 障がい者の社会参加促進
- 4 子どもたちの健やかな成長・育成支援

具体的な取組み ねんりんピックの開催、ゆうあいスポーツ大会、子ども食堂の支援、福祉教育の推進、身体障害者福祉センターの運営など

社会構造の変化や人々の暮らしの変化により、複雑化する福祉課題に対し、高齢者・障がい者・子どもなど全ての人が世代や背景を超えてつながり、相互に支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがいを、ともに創り、高め合う社会を実現します。

重点テーマ 2 社会的孤立の解消促進

アプローチ

- 5 生活困窮者への支援
- 6 フードバンクおおいたの拡充

具体的な取組み 生活困窮者自立支援の実施、おおいたくらしサポート事業、民生委員児童委員の活動支援、生活福祉資金制度の運営など

地域のつながりの希薄化が進むなか、県社協としては全国で初めて設置した「フードバンクおおいた」を活用しつつ、生活困窮者に寄り添った支援を行い「生活困窮者の自立と尊厳の確保」と「生活困窮者支援を通じた地域づくり」を目指します。

重点テーマ 3 権利擁護システムの推進

アプローチ

- 7 判断能力が不十分な者への支援
- 8 権利を守るための相談体制の充実

具体的な取組み 日常生活自立支援事業の実施、運営適正化委員会の運営、福祉サービス第三者評価等の実施など

認知症高齢者の増加や障がい者の地域移行が進み、判断能力が不十分な人が地域で生活するために、日常生活自立支援事業、苦情解決事業を充実させ、安心して福祉サービスが利用できるよう支援します。さらに判断能力が無くなったあとも、尊厳のある暮らしを送れるように法人後見事業の推進など権利擁護体制を充実させます。

重点テーマ 4 災害に強い地域づくり

アプローチ

- 9 災害時の支援体制整備
- 10 災害時要配慮者の支援

具体的な取組み 災害ボランティア・福祉支援センターの設置、運営、DWATの運営、災害時相互応援協定に基づく支援、防災士の養成など

頻発する大規模災害に備え、平常時から関係機関・団体とのネットワークを充実させます。また、災害が起きたときに、迅速に対応するための人材育成に取り組みます。

重点テーマ 5 新たな福祉の担い手づくり

アプローチ

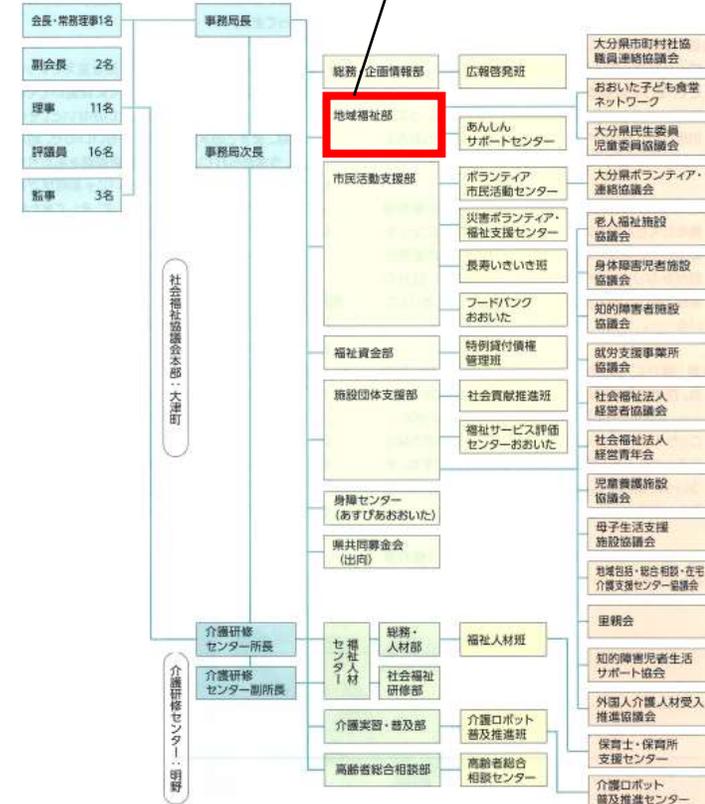
- 11 福祉人材の確保・育成・定着
- 12 介護現場の革新

具体的な取組み 福祉人材センターの機能強化、介護ロボットの普及・促進、外国人介護人材の受入・定着、ノーリフティングケアの推進など

福祉・介護人材が不足している状況に対し、人材の確保、定着、育成と、働きやすい職場環境づくりを支援します。さらに、新しい介護の担い手として期待される、介護ロボット等の導入支援を進めます。



ここに在籍中
(令和4年度～)



就労支援における県社協のこれまでの取り組み

平成28年度

大分県生活困窮者就労支援協議会 設立

生活困窮者の自立支援に係る出口支援（就労）を協議する場として設立



平成30年度

民間事業者と連携する生活困窮者の就労支援モデルの実施

大分県中小企業家同友会（中津支部）の協力により、生活困窮者の同友会会員企業での就労体験を受け入れるモデル事業を実施（4社3名）



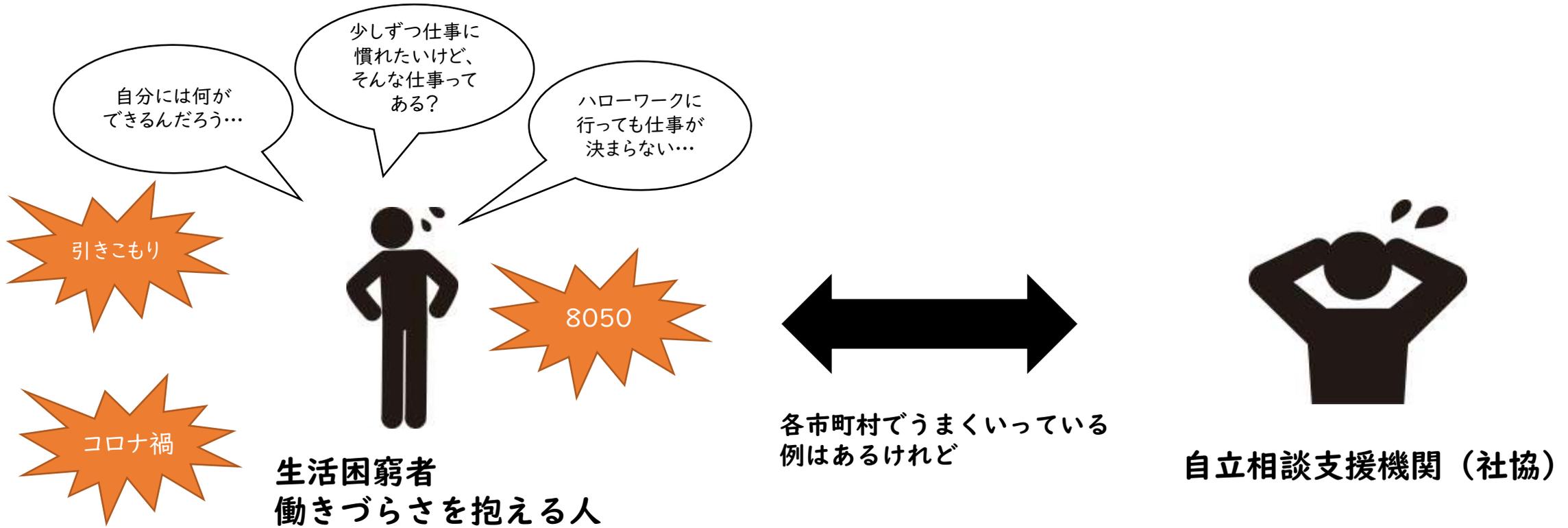
令和3年度

自立相談支援機関と同友会会員企業との意見交換会

大分県内の自立相談支援機関と中小企業家同友会会員企業との意見交換会を実施
→この意見交換会後に、会員企業の紹介を受け、実習・訓練を経て就職が決まったケースも生まれた



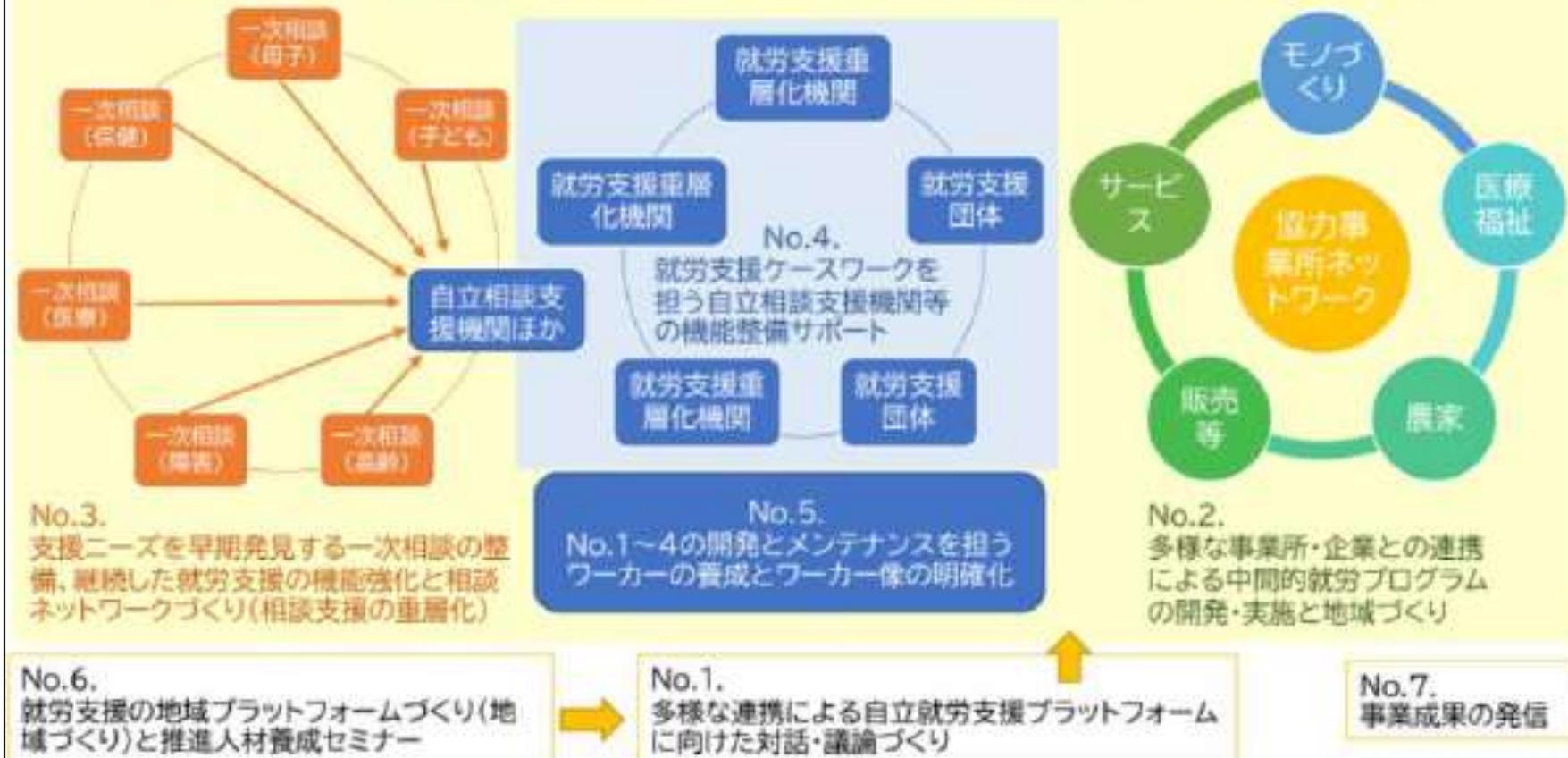
これまでいろいろやってきましたが…



もっと就労支援の輪を県内に広げられないか…

令和4年度

中間的就労の推進を核にした地域プラットフォーム



就労支援の新たな切り口を学ぶチャンス！



玖珠町での取り組み

5/19

玖珠町、玖珠町社協との意見交換会

・地域づくりの中で、今回の事業をとおして就労支援の力が強くなるのは心強い。

・「担い手不足」よりも「労働力不足」が課題。そういった面にもゆくゆくはつなげられたら良い。

・就労支援のメニューで段階的にステップを踏めるのは本人達にとっても良い。

7/25、9/9

わがまちの地域づくりを考えるワークショップ



支援対象・ニーズ

【人間関係をめぐる不安・行動】

- ・協調性に欠ける
- ・空気が読めない
- ・コミュニケーションを取るのが苦手
- ★人の目が気になる
- ★たくさんの方がいる所にいたくない
- ★対人関係が苦手
- ・人間関係が築けず、長続きしない
- ★ひきこもり

【仕事・職場をめぐる課題】

- ★給料が安い
- ・仕事が見ついたが給料は安い(福祉系)
- ★人員不足(保育士)
- ★農業で収入が見込めない
- ★新規就農しても、生活ができない
- ・米作りだけでは生活ができない
- ★職種に限られる
- ★人間関係が築けず、長続きしない
- ・車や免許が無く、働く場に限られる
- ★交通の便が悪く、通勤が困難
- ・障害者の受け入れが無い
- ★障がい者を受け入れる雇用が無い

あるといいな！活動(すでに実施している活動含む)

【多様な仕事・中間的就労など】

- ★年齢で判断せず、一度あたりし雇用をして、採用するかを決める
- ★障がい者、高齢者、ひきこもり、パート給参加可能な事業化
- ・若い人の仕事を探す(作る)
- ・職場の人が障がいを理解した上での、短時間からのインターンシップ(おためし)
- ★短い労働(1~3時間、こどもを預けている間のみ)の仕事
- ★障がい者や高齢者が出る仕事の切り出し
- ★気軽に農業のバイトができる仕組み
- ・高校生にアルバイトをしてもらう(受け入れてもらう)
- ★報酬のある体験社会の場
- ・相談員を作って情報を流す
- ★インターネットがあれば出来る仕事内容
- ★自宅(在宅)で出来る仕事
- ★自宅でSBの仕事
- ★内職靴
- ★観光+農作業(農業観光)
- ・今ある資源、資材(団体・機関)をうまく活用、利用する
- ★農業の副産物

【相互理解・マッチングの仕組み】

- ★相談者と企業等をつなぐコーディネーター
- ★「求職票」を作り、企業に公開
- ★玖珠町での人材バンクと相談窓口を作る
- ★企業と働く人のマッチングの場を設定(ハローワークや労働基準監督署、玖珠町)

<ワークショップ参加者>

玖珠町役場、玖珠町社協
障がい相談支援事業所、学校関係者、
ハローワーク、民生委員、農家

11/7

玖珠町、玖珠町社協との今後に向けた協議

・来年度から重層的支援体制整備事業(移行準備)に取り組む予定。重層的支援体制整備事業とも重ね合わせていきたい。

・重層的支援体制整備事業の入口、特に参加支援へのイメージ・参考になるようなプログラム作りはどうだろう。

1/16、2/13

農園訪問 仕事プログラム作り



3/17

わがまちの地域づくりを考える 研修会



杵築市での取り組み

5/24

杵築市社協との意見交換会

杵築市社協における就労支援 (参加支援・地域づくり)の構想

- ・農作業を中心とした参加支援
- ・重層事業との重ね合わせ
- ・働きづらさを抱える方の社会参加
- ・就労による介護予防
- ・農業の人手不足 など



構想実現には何が必要か…

市、市社協との合意形成
学びの場(勉強会)

9/8

わがまちの地域づくりを考える
研修会

<研修会参加者>

杵築市役所(農林課、協働のまちづくり課、医療介護連携課) 杵築市社協



支援対象・ニーズ

【キャリアの探索・形成の課題】

- ・いざ働きたい時に、向ができるか分からない
- ・自分の希望する職種に物けるか不安
- ・転職が多い
- ・スキルを活かせる仕事がない
- ・責任が伴う地帯には就きたくない
- ・就職経時代に新卒だった

【高齢】

- ・グランドゴルフにも熱中できることがほしい
- ・ハローワークでは年齢で断られる
- ・意欲はあるが、年齢により就業できない(辞めが早い)
- ・免許を返却して、就労組織が難しい

アウトカム(活動の改善によって期待される効果・インパクト)

【就労・就労(参加)準備の場として(考え方)】

- ・サロンで作業を提供→やってみる
- ・作業したことで喜ばれた!→小さな成功体験
- ・前向きにサロンに出向き、作業する→就労
- ・おこづかいかせぎ
- ・めざす仕事に向けて、就労支援が提供できる
- ・必要な時に働ける、雇える・周年雇用の可能性・無期雇用の可能性
- ・高齢者の活躍の場

11/7

杵築市役所との協議・意見交換会

<研修会参加者>

杵築市役所(農林水産課、協働のまちづくり課)
杵築市社協



農業の現状把握
社協・市役所の課題共有
就労支援を通じての人材確保
への可能性を協議

今後に向けての提案・協議

企業、農家開拓
業務切り出し等

竹田市での取り組み

6/13

竹田市、竹田市社協との
意見交換会



竹田市、竹田市社協への
応援



11月～

企業訪問
仕事プログラム作り



3/7

報告会兼研修会

今年度の重点的行政施策

「重層的支援体制整備事業」の実施
「無料職業紹介所の設置と機能づくり」

竹田市においては今年度「重層事業」の
本格的実施1年目を迎えた。

「包括的相談支援体制の構築」
「多機関協働事業」
「参加支援」
「地域づくり」を市社協に委託。

また、重層事業の効果的な機能づくりや
地域産業との相互扶助を行うための無料
職業紹介所の設置を行うこととした。

そのため、本事業においては負担感を感じ
ないように配慮しながら(本来はそれらを応援で
きる事業ではあるが)、竹田市の重点施策を応
援する形で進めた。

月1回の生活支援会議への参加

参加支援・地域づくり研修
(全4回)

無料職業紹介所意見交換会
(全6回)

重層事業全体研修
(市・社協：全4回)



さまざまな意見交換を行う中で、
「もっと地域に出かけていこう！」
という機運が高まってきた！



2/18

合同就職説明会への参加

地域企業が
取り組みに
共感！

<研修会参加者>
竹田市役所、竹田市社協

【就労支援と地域づくり】

○今年度の取り組みの振り返りとこれからの動きにつ
いて確認。

- ・トマト農家のプログラムシート
- ・トマト農家のしごと紹介動画
- ・竹田市における重層的支援とは
- ・無料職業紹介所の今後
- ・地域と協働するための方策

など、今後につながる取り
組みが確認された。

地域産業の中から、トマトづくりの農
業法人、養鶏養豚、高齢者福祉、スー
パー、IT産業、物流、建築など12の企
業、事業所への訪問。働く現場を知る
ことで地域づくりのイメージが拡大！

各市町村での総括

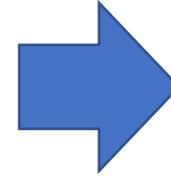
これまで

◆ 玖珠町

行政と社協の一体的実施、関係機関との日頃からのつながり

↓ 今回の事業を通じて

仕事・就労支援を切り口にした地域産業との協働の広がりの可能性



◆ 杵築市

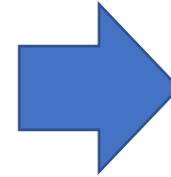
地域づくりにおけた構想

↓ 今回の事業の中で

構想の変化による取り組みの再構築

↓

次の応援策の提案・協議



◆ 竹田市

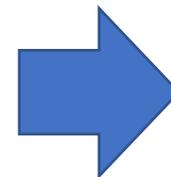
重層的支援体制整備事業と無料職業紹介事業にどう取り組むか

↓ 今回の事業の中で

各種研修の実施と協議による意識の醸成

↓

企業訪問をとおしての地域産業との協働の可能性



期待すること

実践に向けた相談支援の機能強化とマッチング

「はたらく」を応援できるまちづくり

地域産業との協働によるまちづくりの模索

協働・実践を通じての地域力の強化

重層的支援体制整備事業と無料職業紹介
とが連動した地域資源との協働

今回の事業を通して感じた事

◆ 就労支援は「参加支援」「地域づくり」との親和性が高い

地域の多様な人材が、地域の中で活動できる機会が増える（参加支援）

多様な人材を受け入れられる体制・ネットワーク＝「はたらく」に優しいまち（地域づくり）



◆ 地域産業とつながるきっかけ

地域にはいろんな思いをもった人たちがいる。

「住みよい地域・まちづくり」という思いはどの分野も皆同じ。

大事ななのは、お互いを知る事、手を取り合える環境を整備する事。



広域実施の意義

◆ 市町村社協を応援してこそその県社協！ (理想)

各地域の現状を知り、市町村社協と一緒に関わる事で各地域の良さや特徴を知る。

地域住民の困りを支えるのが市町村社協であるならば、市町村社協の困りを支えるのは県社協



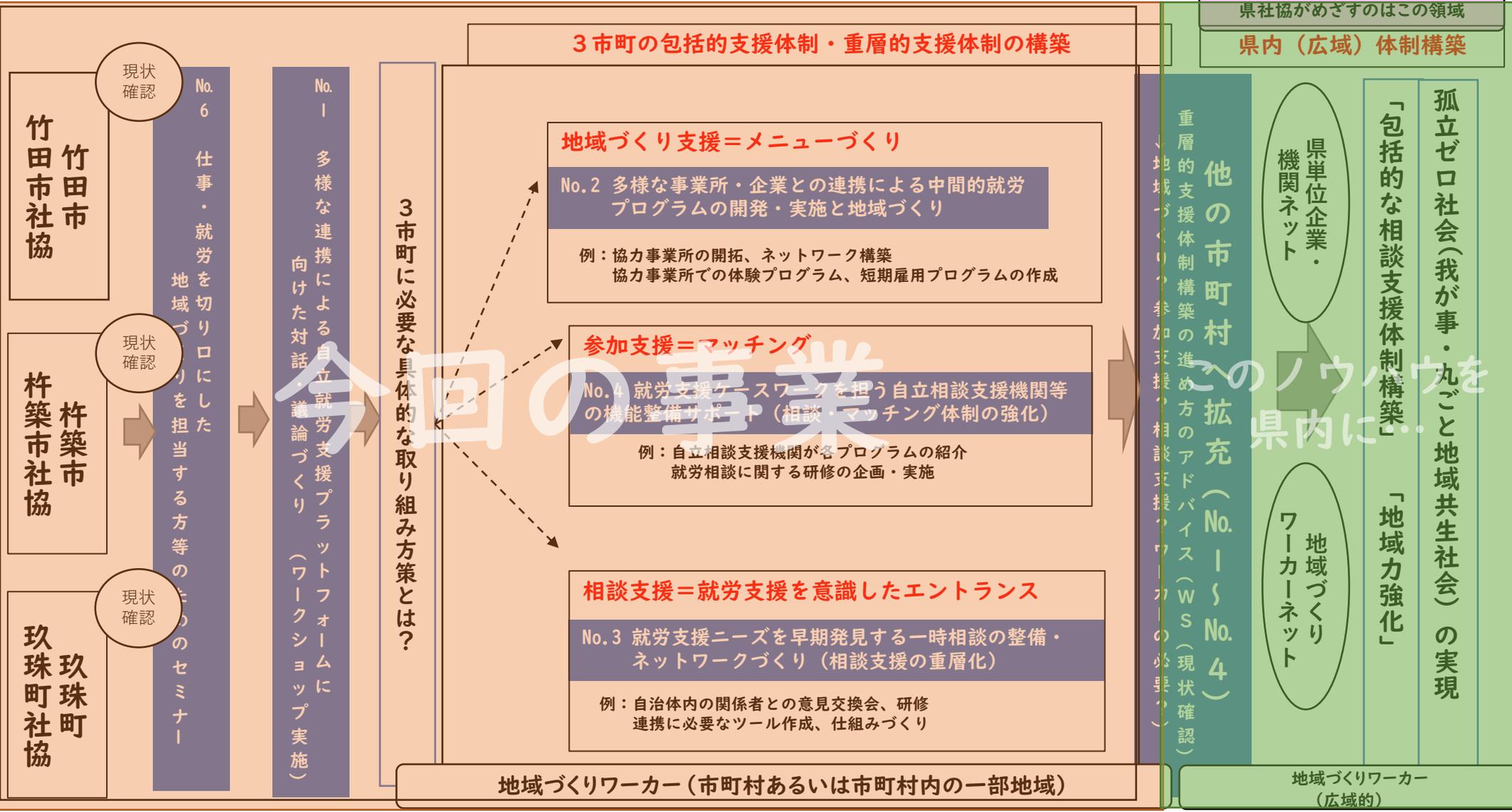
◆ 市町村社協をバックアップできる形 (理想)

- ・就労支援を切り口にした各市町村同士の橋渡し
- ・各市町村の就労支援の各種ツールを県社協が持ち、困りがあれば必要な道具を提供できる機能



環境整備の応援！

今後の県社協として



<県社協が応援>

- ◆継続応援
- ◆新規応援
- ◆仕事・就労支援を切り口にしたワークショップ
- ◆就労アセスメント研修
- ◆企業訪問業務切り出し

一緒に頑張りましょう！



ご清聴ありがとうございました

ありがとうございました

